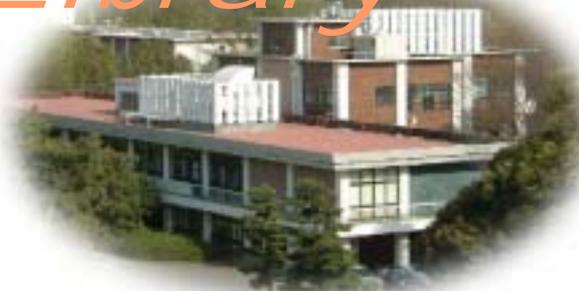


Library



The Tottori University Library Information. no.108

目次

医学部分館の現状・課題と 今後の方向性について	1
シリーズ:所蔵資料紹介 掛け軸の謎 - 旧鳥取県師範学校郷土室 所蔵資料 -	3
ミニシリーズ・情報検索コーナーより その CiNii の利用について	5
平成17年度日本紹介コーナー図書	7
本学教員著作寄贈図書	10
平成17年度利用状況	11
ミニトピックス	14

PDFファイルをご覧いただくためには、アドビ社のアクロバットリーダーが必要です(無料)。ダウンロード方法など詳細については[こちら](#)をご覧ください。

医学部分館の現状・課題と今後の方向性について

岸本拓治

鳥取大学附属図書館・医学部分館は昭和24年鳥取大学が設置されると同時に鳥取地区の中央図書館とともに設立されました。その母体となったのは米子医科大学の図書館です。その後医学部分館は昭和46年に新築され、昭和55年に増築を行っています。蔵書数は、中央図書館が約50万冊、医学部分館が約15万冊です。医学部分館は、まさに医学部の教育・研究に大きく貢献してきました。

大学図書館は大学の教育・研究活動には欠かすことのできない機関です。図書館情報サービスの究極の目的とは、利用者に必要な資料情報を提供すること、利用者の情報活用能力の育成を支援することです。利用者に行われている図書館情報サービスのうち、最も基本的なものは閲覧、貸出、レ

ファレンスサービスです。これらの点に関して医学部分館では、ホームページの充実を常に図り、教室や研究室からアクセスすることにより、いろいろの情報を簡単・迅速に入手できるように改善を継続しています。また、機会あるごとに図書館利用教育の開催を行い、専門機関に講師を要請してデータベースの活用方法などの学習に力を注ぎ、学生・教員・職員に対して便宜を図っています。さらに、最近では、鳥取県内の大学・短大・高専の図書館や県立図書館・4市立図書館とネットワークを形成し、医学部分館では補えない一般図書の充実などが実現



し大変喜ばれています。また、米子地区では大学が県道により二分されており附属病院に勤務する教員・職員は距離的に医学部分館を活用しにくい状況があります。そこで、分館出張所を設け、いろいろの便宜を図っています。

一方、いろいろの改善努力にも拘らず医学部分館が抱える幾つかの課題もあります。施設・設備に関しては、昭和55年度に書庫を増築して以来、建物の増改築がなく、閲覧室と書架スペースの狭隘化はもとより諸設備の老朽化が進んでいます。利用者からは常に閲覧スペース(116席)、パソコンスペース(14席)、学習スペース(5席)の狭さに苦情が寄せられ、配架スペースの確保できない返却図書・約1.5万冊はダンボール詰めにして倉庫に積み上げられている状況です。設備のうち空調装置は、近年の老朽化によって、再三故障が生じており早急な更新が望まれます。また、予算に関しては、これまで図書資料費を外国雑誌の購入代金に圧迫されて、学生用図書等の資料費を確保できない状況がありましたが、平成17年度に学術資料費の共通経費化が実施されたことにより、この状況からは脱却することができました。しかし、分館として備えつけないべき資料のうち外国雑誌の高騰は予断を許さず、今後の予算確保が懸念されます。これらの課題を改善することが緊要なこととなっていると思われます。

近年、図書館の役割に関しては大きな転換が認められております。特に電子ジャーナルやデータベースの充実により教員・研究者は、直接図書館に来る必要性が少なくなっています。そういうなかで、図書館の役割を建設的・発展的に見直す時期になっ

ていると思われます。附属図書館の委員会では、新学術情報館構想が検討されています。鳥取大学附属図書館報 No.106で和泉好計図書館長が述べられていますが、新学術情報館構想の内容は、「附属図書館と総合メディア基盤センターの統合による高度な学術情報活動、および大学構成員のキャンパス交流の場、仮称 Agora(アゴラ=人の集まる場という意味のギリシャ語)」構想ということで、学習・研究支援のみならず憩いと癒しの空間を提供することにより、多くの学生・教職員や地域住民も集まれる空間を構築するというものです。この構想に関して、医学部分館の立場から考えますと、研究支援に関しては、今まで以上に電子ジャーナルやレファレンスサービスを充実し電子図書館的機能を発展させること、医学部の研究成果をフルテキストで公開するための「機関リポジトリ」を構築すること等が重要になっています。学習支援に関しては、図書館利用教育をさらに充実すると共に、ゆとりある快適なアメニティを提供する必要があります。附属病院の患者様用の「患者図書館」の構築や、敷居をもっと低くして地域の方々が気軽に医療情報を得られように、人々が集いやすい医学部分館になることが問われていると思われます。

医学部分館の現状や課題、また今後の方向性について述べさせていただきました。今後、いくらIT化が進もうとも医学部分館の重要性は、ますます高まると考えられます。といいますのも、インターネットから得られる情報は、膨大で玉石混濁な情報の山のようなものであり、情報収集の迷路に迷い込まないためにも医学部分館の存在の重要性があるからです。利用していただいている

学生・教職員の方々の意見を今まで以上に大切にして、医学部分館の発展を図ること

が重要と考えています。

(医学部分館長、医学部医学科教授)

シリーズ：所蔵資料紹介

掛け軸の謎 - 旧鳥取県師範学校郷土室所蔵資料 -

山 根 俊 喜

附属図書館のロビーに書画の掛け軸が数点架けてある。いったい何故このようなものを、附属図書館が所蔵しているのか、疑問をもたれたことはないだろうか。今回はこれら資料の収集の背景を記すことにしたい。

これらの資料は、鳥取県師範学校の「郷土室」に収集されていたものである。では、この郷土室はどのような経緯で設置されたのか。

大正期半ば以降の教育界では、従来の中央集権的な教育の在り方を「画一主義」と批判し、官民あげて教育の「地方化」「実地化」「生活化」が標榜されていた。こうした新潮流のひとつが「郷土教育運動」であった。地域調査活動など直観的・活動的方法によって「郷土研究」(地域研究)を行い、郷土の客観的理解と郷土愛を育み、郷土社会の後継者を養成しようとするこの運動の源流は明治末期まで溯れるが、これが本格的に実践されたのは昭和の時代に入ってからである。その直接的契機のひとつとなったのが、文部省が師範学校に与えた補助金「郷土研究施設費」であった。

この補助金は、1校あたり、1930(昭和

5)年1,810円、1931(昭和6)年4,150円と相当に高額であった。用途については、「郷土研究資料」の蒐集にあてること、その資料は国語・歴史・地理・理科等なるべく広い範囲から選択することとされた。収集された各種資料は空き教室などを利用して設置された「郷土室」に収蔵された。ところで、この補助金、各府県に交付されたのは、年度も終わりの12月末になってからであった。このこともあり、郷土の調査研究を行いながら資料を収集していくのではなく、古文書や稀覯の文献、はては由緒ある書画骨董類を買い込み、地元の古物商に時ならぬ実入りをもたらす、といった状況が現出した(「全国・師範学校・郷土研究施設費・批判・聞き書き」『郷土教育』20、1932.6.)。鳥取県師範学校もこの例に漏れなかったのかどうか、定かではないが、いずれにせよ冒頭の書画類や、鳥取関係の古文書は主にこの時に収集されたものである。

さて、郷土資料収集の状況はどうあれ、これを期に郷土研究・郷土教育が進展したのは事実である。鳥取県師範学校では、1931(昭和6)年に地理科に加えられた「地方研究」の時間、各学年、各科で週1時間設

けられた「郷土的取扱」の時間、郊外教授（社会見学、自然観察）休暇中の宿題等を通じて、統一テーマを設定しての郷土研究（「民謡調査」「郷土芸術」など）、あるいは自由なテーマ（例えば「香川景樹」「因伯の災異」「鳥取県の天然記念物」「明治村の産業」「二十世紀梨」等々）を追究する郷土研究が行われた。これらの調査報告書は、書画、標本、各地の郷土研究や郷土読本と共に郷土室に収蔵・陳列された。また、1934(昭和9)年度には校内の教員・生徒を中心に「郷土研究会」が組織され、さらに、この研究活動を総括するものとして、1939(昭和14)年には、鳥取県師範学校『郷土研究紀要 第1輯 因伯民俗調査』が発刊されている（鳥取県師範学校『郷土研究施設要覧』昭和11年）。こうして郷土に関する幅広い知識と郷土研究の方法を身につけた教員を養成し、任地で郷土の実情に応じた教育を行うことが期待されたのである。

郷土教育運動は、郷土愛から国家愛の形成をめざす主情的なもの、郷土研究とそれらの比較を通じて郷土の客観的認識をめざすものなど多様な潮流を含み、その実践の全貌は未解明である。師範学校生徒の調査報告書を含む「郷土室」所蔵資料の検討は、鳥取におけるこの運動の性格の一端を明らかにするかも知れない。

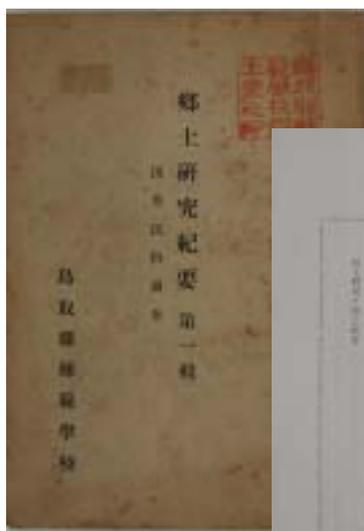
（付 記）

旧郷土室所蔵の文書資料は1F「貴重図書室」に、目録は図書館ホームページの「電子図書館」「郷土資料データベース（旧鳥取電子展示室）」http://www.lib.tottori-u.ac.jp/Sample/denshitenji_ver2.htmにある。

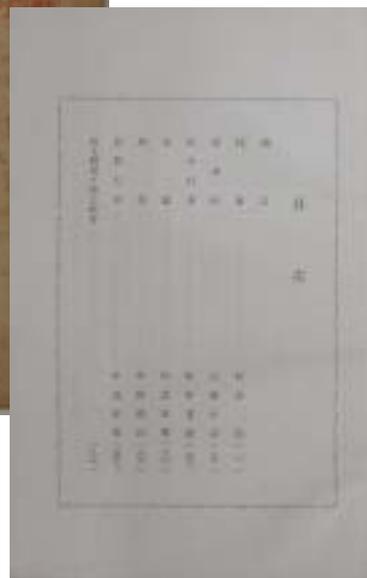
（地域学部地域教育学科 教授）



夏期休暇宿題の郷土調査報告書



鳥取県師範学校郷土研究紀要 第1輯



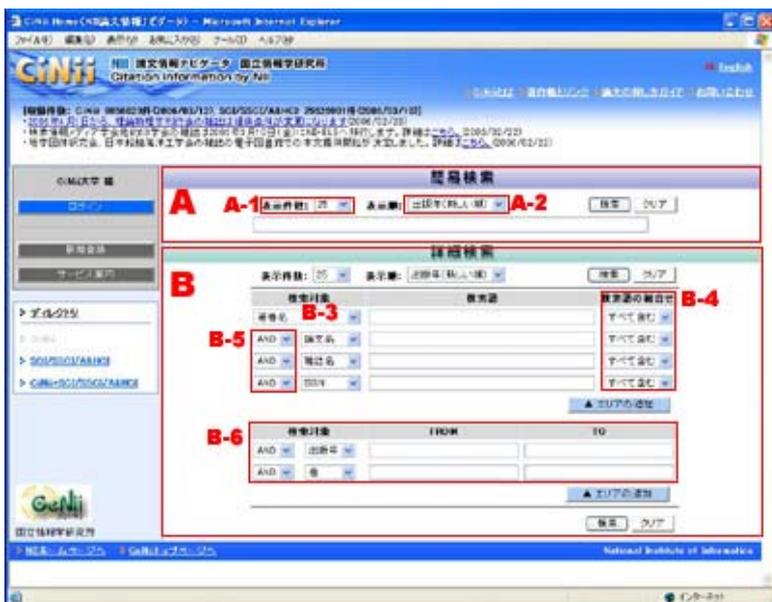
ミニシリーズ・情報検索コーナーより その CiNii の利用について

国立情報学研究所(NII)では、各種サービスごとに提供しているコンテンツを統合するとともに、国内外の有用な学術情報資源との連携を可能とすることを目標としたプラットフォーム GeNii(ジーニイ)の構築を進めています。

GeNiiの機能の一つとして、NII論文情報ナビゲータ CiNii(サイニイ)を提供します。



Step.1 検索条件を入力する



HINT!

鳥取大学は定額制機関です。

・CiNiiのすべての機能と、NII電子図書館の学会誌の論文本文のうち「定額許諾」の論文本文を自由にご利用いただけます。

・Thomson Scientific社のCitation Index (SCI/SSCI/A&HCI)と、NII電子図書館の学会誌の有料の論文本文のうち、機関定額制での利用が許可されていない論文本文を利用するには、サイトライセンス個人IDを取得する必要があります。

A 簡易検索

簡易検索とは、いわゆるフリーワード検索です。著者名・著者所属・論文名・雑誌名・ISSN・出版者・抄録・著者キーワードを検索します。

- ・空白文字(半角・全角空白)区切りで複数のキーワードを入力できます。この場合はAND検索となります。
- ・簡易検索ではフレーズ検索(空白文字を含む文字列での検索)はできません。「B 詳細検索」を使って行ってください。
- ・ダブルクォーテーション「"」は使用できません。
- ・数字をキーワードとする場合は全角・半角文字のどちらでもかまいません。
- ・アルファベットの大文字と小文字、全角と半角は区別しません。

A-1 表示件数

一覧表示する際の1ページあたりの表示件数を指定できます。

25件、50件、100件

A-2 表示順

一覧表示する際のソート条件を以下の5通り指定できます。

出版年(新しい順) 出版年(古い順) 著者名、雑誌名
citations件数

B 詳細検索

詳細検索では、条件項目を細かく指定して、絞り込んだ検索をすることができます。

B-3 検索対象

検索対象としたい項目を選択します(著者名/著者所属/論文名/雑誌名/ISSN/出版者/引用文献/論文情報)。「論文情報」は簡易検索と同じです。

B-4 検索語の組合せ

検索語の入力欄に複数のキーワードを入力した場合、各キーワードに対しての論理演算を指定します。

すべて含む・・・・・・AND検索

どれか含む・・・・・・OR検索

B-5 AND,OR,NOT 各行の検索語に対しての、論理演算を指定します。

B-6 範囲の検索(出版年/巻/号/ページ)

検索範囲として「出版年/巻/号/ページ」を絞り込んで検索を行う場合、開始となる数値を「FROM」に、終了となる数値を「TO」に指定します。どちらかを空白にすると、指定した値以前、あるいは以降の全てを検索します。

Step2. 検索結果一覧



検索結果一覧までは無料でどなたでも利用できます。検索結果一覧から、その論文が引用している / その論文を引用している論文の件数がわかります。

1 キーワードで絞り込む

結果をさらに絞り込むことができます。

検索対象としたい項目（著者名 / 著者所属 / 論文名 / 雑誌名 / ISSN / 出版者 / 引用文献 / 論文情報）をプルダウンから選び、検索語を入力します。

範囲で絞り込む

絞り込み条件として範囲（出版年/巻/号/ページ）を入力したい場合に「範囲で絞り込む」をクリックします。

2 収録データベース

その論文データを収録しているデータベース名を表示しています。

3 本文リンク等

本文へのリンクの有無を表示します。一部の本文は有料となっています。有料の場合は、利用料金を確認するポップアップウィンドウが開きます。

4 文献書誌・引用情報

[文献書誌・引用情報](#)をクリックして閲覧するには、定額制機関内からのご利用者、あるいはIDでログインする必要があります。

abstract

抄録情報：論文の抄録がある場合に表示します。

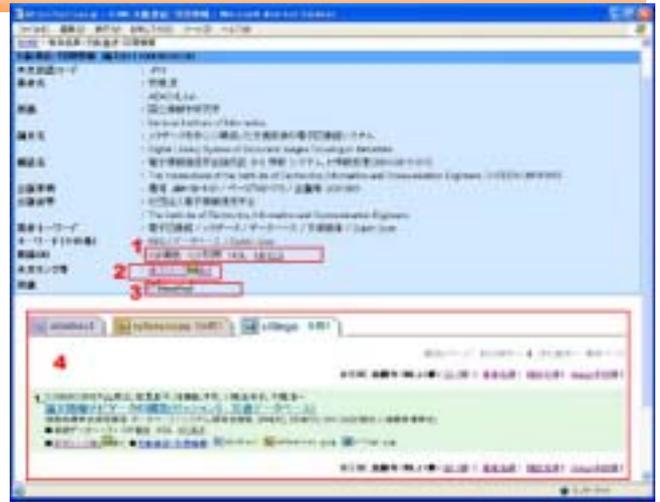
references

引用情報：その論文が引用している論文の件数を表示します。

citings

被引用情報：その論文を引用している論文の件数を表示します。

Step3. 文献書誌・引用情報



「文献書誌・引用情報」を閲覧するには、定額制機関内からのご利用者、あるいはIDでログインする必要があります。Pay Per View利用では閲覧できませんのでご注意ください。

1 収録データベース

その論文データを収録しているデータベース名を表示しています。

2 本文リンク等

本文へのリンクの有無を表示します。一部の本文は有料となっています。有料の場合は、利用料金を確認するポップアップウィンドウが開きます。

「検索結果一覧」または「文献書誌・引用情報」画面の

本文リンク あり

から本文コンテンツに進むことができます。

* 本文提供条件と料金

ディレクトリ検索から雑誌名で検索して表示できます。

無料一般公開、定額許諾

鳥取大学は定額制機関ですので、無料で閲覧できます。

ただし、個人IDでログインしている時は無効です。

有料公開

本文ごとに設定された利用料金がかかります。

3 所蔵

Webcat Plusのアイコンが表示されている場合、クリックするとWebcat Plusの詳細表示画面を別ウィンドウで表示します。Webcat Plusでは、その雑誌を所蔵している大学図書館等を知ることができます。

4 引用情報

タブをクリックすると抄録情報（abstract）、引用情報（references）、被引用情報（citing）の詳細を見ることができます。

平成 17 年度購入日本紹介コーナー図書

平成 17 年度の留学生用図書購入費で次の 89 点の資料を購入しました。選定にあたって、国際交流センターの谷守先生、御館先生、金先生、竹田先生のご協力を得ました。ここに改めてお礼申し上げます。

日本人学生向け図書

書名	編著者	発行所・発行年
アメリカの大学で「芸術」を学ぶ：芸術留学のためになぜアメリカか	栄陽子	三修社 2005
アメリカ留学で人生がおもしろくなる	栄陽子	三修社 1999
アメリカ留学マニュアル	留学ジャーナル	三修社 2005
アメリカ留学絶対すぐに役立つ英単語	キャズ・カワゾエ	三修社 2003
イギリス留学事典 2006	アルク留学事典編集部	アルク 2005
カナダわくわく留学	REF 留学教育フォーラム編；松岡昌幸著	三修社 2005
はじめての留学スーパーガイド 2006-07		アルク 2005
フランス留学で役に立つ単語と表現	朝比奈美知子	三修社 2005
フランス留学案内：大学留学	フランス語教育振興協会	三修社 2005
フランス留学案内：大学留学	フランス語教育振興協会	三修社 2005
栄陽子が教える決定版アメリカ大学進学	栄陽子	三修社 2005
英語は楽しく学ぼう：留学・ビジネス・上達体験的マニュアル	東洋之	朱鳥社 2005
音楽留学 in USA 改訂版	栄陽子	三修社 2005
海外留学の手引き 2005：海外の語学学校、大学等で学びたい人のための留学ガイド	日本国際教育協会	日本国際教育協会 2005
海外留学への進路 2006：留学をめざすあなたのために	さんぼう	さんぼう 2005
女が留学に賭けるとき：How my experiences in America changed my way of life	栄陽子	国際教育出版 1995
正しい留学の手引き 2007	一ツ橋書店編集部	一ツ橋書店 2005
中国に留学して夢をかなえる：新しい世界であなたの道を開こう!	萬里紅	中経出版 2005
日本で学べるアメリカ大学通信教育ガイド	全米大学生涯教育協会	ダイヤモンド社 1995
旅行フレーズで学ぶイタリア語超入門：使いながら覚えるイタリア語入門の決定版	一ノ瀬俊和	アルク 2000
旅行フレーズで学ぶ韓国語超入門：使いながら覚える韓国語入門の決定版	林昌奎、李鍾姫	アルク 2000
留学を希望するあなたへ（ビデオ4本）	日本国際教育協会	日本国際教育協会

外国人留学生向け図書

書名	編著者	発行所・発行年
100のクイズで楽しく知る日本と韓国文化の違い：日韓対照	関丙哲	BCM Media 2005
Breakthrough Japanese : 20 mini lessons for better conversation	Hitomi Hirayama	Kodansha International 2004
Electricity 3 : power generation and delivery	Walter N. Alerich, Jeff Keljik	Delmar Thomson Learning 2001
Electromagnetism for engineers : an introductory course	P. Hammond	Oxford University Press 1997
Integrated electronics : analog and digital circuits and systems	Jacob Millman	McGraw-Hill 1972
Living Japanese through comics = マンガで学ぶ日本語 生活編	Kato Kiyokata 他	アスク 2003
Living Japanese through comics = マンガで学ぶ日本語 文化編	Kato Kiyokata 他	アスク 2003
The law of subsidies under the GATT	WTO System / Marc Benitah	Kluwer Law International 2001
Veterinary virology	Frederick A. Murphy ... [et al.]	Academic 1999
あなたの日本語に磨きをかける敬語	三吉礼子、矢島清美	専門教育出版 2004
くらべてみよう!日本と世界の食べ物と文化	朝倉敏夫、阿良田麻里子	講談社 2004
コミュニケーションのための日本語発音レッスン	戸田貴子	スリーエーネットワーク 2004
これで安心!病気とケガの単語帳：英日対訳	John J. Olichney, Sue A. Kawashima	スリーエーネットワーク 2000
トレンド英語日本図解辞典= Trend illustrated Japanese English dictionary of things Japanese	タイモン・スクリーチ他	小学館 1999
英語でつくる和食：寿し、天ぷら、豆腐料理...日本の代表料理からマナーまで	藤田裕子	ナツメ社 2004
英語でつくる和食：日本の食文化・伝統を伝える	藤田裕子	ナツメ社 2003
英語で楽しむ日本の家庭料理	浦上裕子	講談社インターナショナル 2003
英語で経済・政治・社会が話せる表現集：日本のしくみについて、日本と世界との関係についての話ができる!!	曽根田憲三、ブルース・パーキンス著	ベレ出版 2001
英語のなかの日本語語彙：英語と日本文化との出会い	早川勇	辞游社 2003
外国人のための楽しい日本語辞典	鷹野次長	三省堂 2004
外国人留学生のための世界史	石渡延男	桐書房 2000
外国人留学生のための面接：合格するための本	目黒真実	凡人社 2004
韓国人が日本人によく聞く100の質問	増田忠幸 他	三修社 2002
基礎日本語学習辞典	国際交流基金	凡人社 1986
菊と刀：日本文化の型	ルース・ベネディクト [著]; 長谷川松治訳	講談社 2005
近世漢字文化と日本語	村上雅孝	おうふう 2005

金色の夢：就学生という悲劇：上海事件はなぜ起きた？	佐々木明	凡人社 2004
現代中国ビジネス論	佐々木信彰	世界思想社 2003
合格水準日本語教育能力検定試験問題集	アークアカデミー梅田校	凡人社 2003
初級語学留学生のための日本語 1	岡本輝彦 他	凡人社 2002
初級語学留学生のための日本語 2	岡本輝彦 他	凡人社 2002
上級日本語教科書：文化へのまなざし	東京大学 AIKOM 日本語プログラム	東京大学出版会 2005
人とうまく話せますか：ネゴシエーションとディスカッション	中村萬里	双文社出版 2004
図説日本のことわざ：絵と図像の文化	時田昌瑞	河出書房新社 1999
図説日本の昔話	石井正己	河出書房新社 2003
図説日本の野鳥	京極徹	河出書房新社 2000
大学生と留学生のための論文ワークブック	浜田麻里 他	くろしお出版 1997
大修館四字熟語辞典	田部井文雄	大修館書店 2004
中学英語で「日本の心」が紹介できる	山田弘	エール出版社 2005
中学英語で日本の伝統文化が紹介できる	藤澤優、山田弘	エール出版社 2005
中国と日本：言葉・文学・文化	陳生保	麗澤大学出版会 2005
中国人と小学校教師のための学校生活まるごとガイド：中国語訳つき	須藤とみゑ、池上摩希子著；徐前訳	スリーエーネットワーク 2005
中文版日本語句型辞典：日本語文型辞典中国語訳簡体字版	グループ・ジャマシイ編著；徐一平 [ほか] 訳	くろしお出版 2001
日中ことばの漢ちがい	張麟声	くろしお出版 2004
日中関係の経済分析：空洞化論・中国脅威論の誤解	伊藤元重	東洋経済新報社 2003
日本で暮らす外国人のための生活マニュアル 2005/2006: 役立つ情報とトラブル解決法：日英対訳	カトリック横浜教区滞日外国人と連帯する会	スリーエーネットワーク 2005
日本で暮らす外国人のための生活マニュアル 2005/2006: 役立つ情報とトラブル解決法：日中対訳	カトリック横浜教区滞日外国人と連帯する会	スリーエーネットワーク 2005
日本のくらし絵事典：国際理解にもやくだつ：年中行事から伝統芸能まで	PHP 研究所	PHP 研究所 2005
日本を楽しむ年中行事	三越	かんき出版 2004
日本語・英語対照生活会話ノート	角田実	三修社 2003
日本語を話すトレーニング	野田尚史、森口稔[共]著	ひつじ書房 2004
日本語を話すトレーニング	野田尚史、森口稔[共]著	ひつじ書房 2004
日本語教育能力検定試験合格するための本 2006		アルク 2006
日本語類義表現の文法（下）	宮島達夫、仁田義雄	くろしお出版 1995
日本語類義表現の文法（上）	宮島達夫、仁田義雄	くろしお出版 1995
日本人のはじまり	渡辺一夫	岩崎書店 2004
日本人の衣服	遠藤喜代子	岩崎書店 2004
日本人の住まい	青木滋一	岩崎書店 2004

日本人の食事	佐藤正光	岩崎書店 2004
日本人の信仰	吉田忠正	岩崎書店 2004
日本俗語大辞典	米川明彦	東京堂出版 2003
日本文化を英語で紹介する事典	杉浦洋一、ジョン・K・ギレスピー	ナツメ社 2004
来日外国人研究者のための生活ガイドブック = Life in Japan for foreign researchers 2002	日本学術振興会	日本学術振興会 2002
留学生のための日本事情入門：1冊でわかる最新日本の総合的紹介	桂島宣弘編；アジアにおける 日本研究ゼミナール著	文理閣 2005
留学生のための分野別語彙例文集	加藤由紀子 他	凡人社 2005
留学生のための論理的な文章の書き方	二通信子、佐藤不二子	スリーエーネットワーク 2003
類語大辞典	柴田武、山田進	講談社 2002

本学教員著作寄贈図書

(平成17年10月～平成18年9月受入分)



この度は次のように寄贈していただきました。誠にありがとうございました。2階の本学教員著作寄贈図書コーナーに配架し、利用に供しています。皆様ご利用下さい。

HA	橋詰隼人(元農学部)	大山・蒜山のブナ林	今井書店 2006.7.20
HI	広重佳治(地域学部)	入眠状態に関する生理心理学的研究	風間書房 2006.2
IN	井上光弘 (乾燥地研究センター)	土壌物理学：土中の水・熱・ガス・化学物質移動の基礎と応用	築地書館 2006.3
KO	小林洋一郎(元地域学部)	学習指導体制の研究：授業と発問	酒井書店 2005.2
NI	錦織 勤(地域学部)	中世国衙領の支配構造	吉川弘文堂 2005.12
SH	塩見邦彦(元地域学部)	中国の「紀年」詩	白帝社 2006.2
SH	篠田雅人(乾燥地研究センター)	砂漠と気候	成山堂書店 2002.10.8
TA	高塚人志(医学部)	いのち輝け子どもたち：食といのちと心のぬくもり	今井書店 2006.1
UE	上田敏和(地域学部)	上田敏和展 この時にー	1990.6
UE	上田敏和(地域学部)	上田敏和展 - 時のひびき - s d	2006.7
WA	渡部昭男(地域学部)	「自分づくり」を支援する学校：「生活を楽しむ子」をめざして	明治図書出版 2005.9

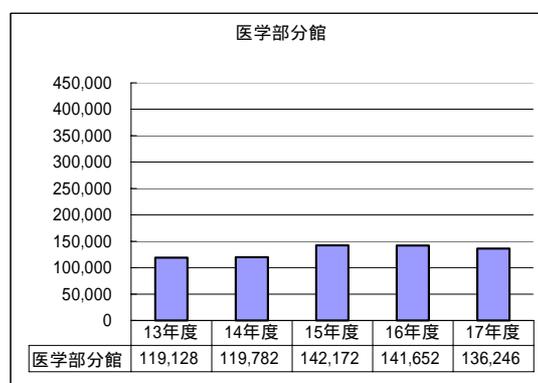
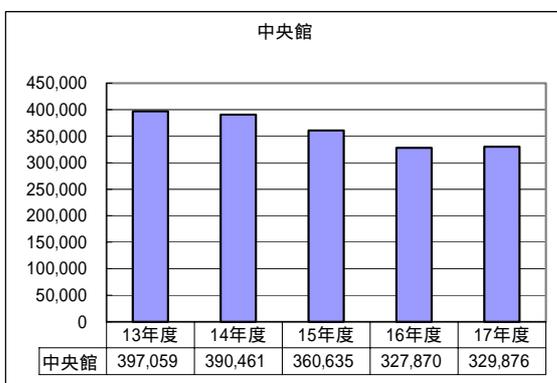
平成17年度利用状況

- 最近5カ年利用状況及び公共図書館利用貸出冊数 -

年度別開館日数

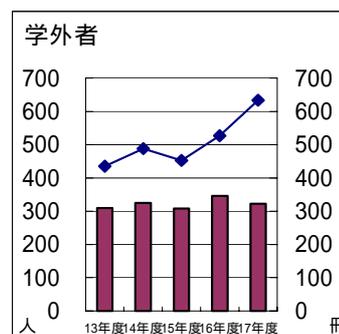
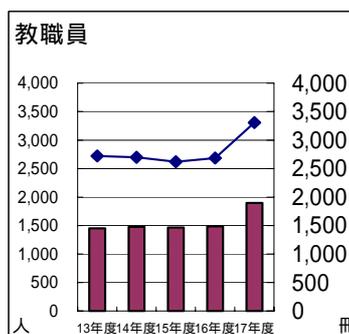
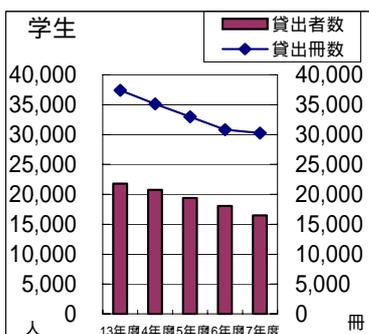
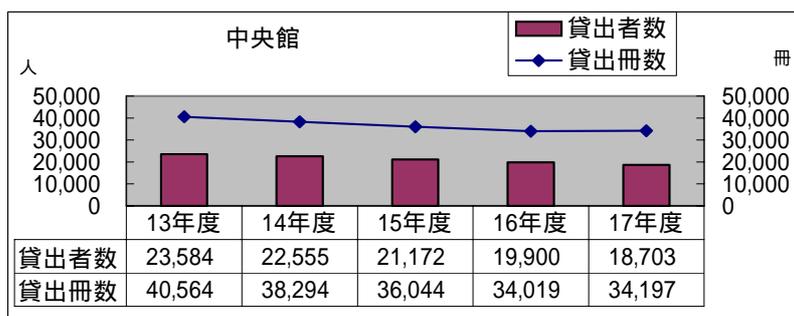
	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
中央館	310日	309日	291日	312日	314日
医学部分館	328日	327日	330日	331日	333日

年度別入館者数

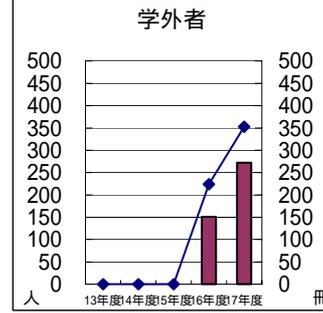
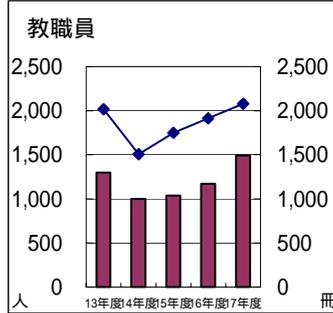
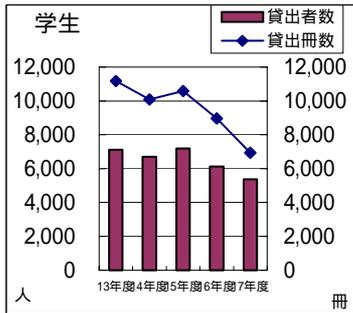
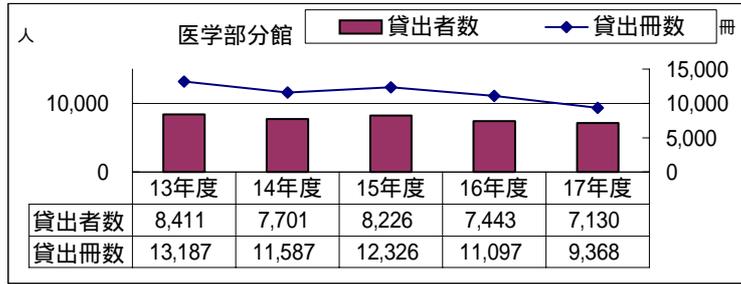


年度別貸出者数・冊数

中央館

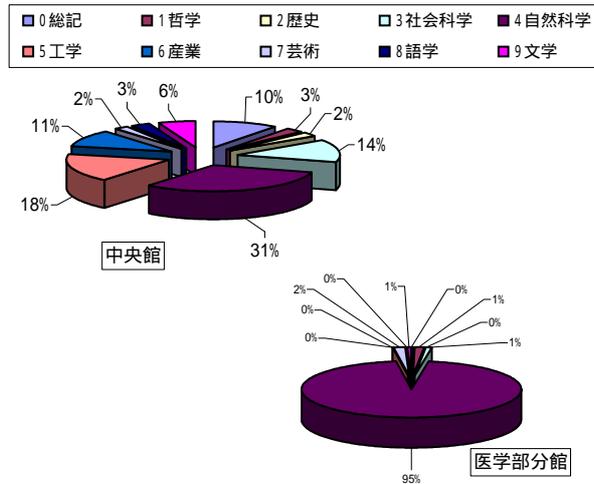


医学部分館

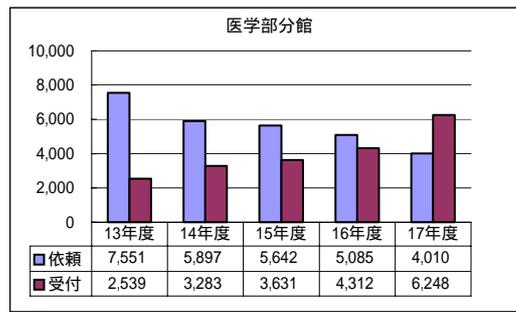
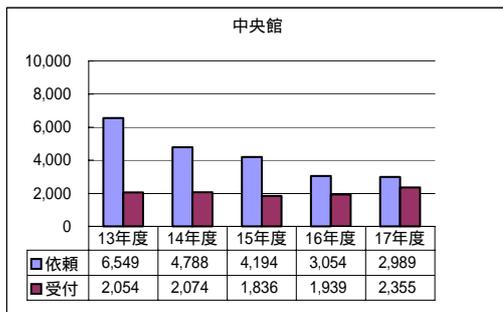


平成17年度分類別貸出冊数

分類	貸出冊数	
	中央館	医学部分館
総数	34,197	9,368
0 総記	3,538	19
1 哲学	910	125
2 歴史	837	3
3 社会科学	4,786	96
4 自然科学	10,721	8,911
5 工学	6,008	7
6 産業	3,637	2
7 芸術	754	157
8 語学	1,029	0
9 文学	1,977	48



文献複写学外依頼・受付件数



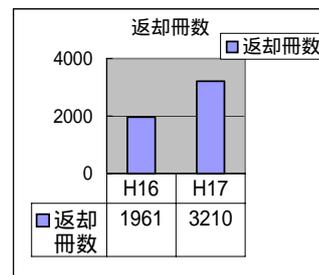
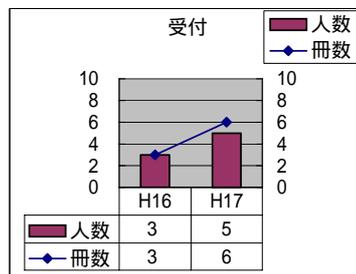
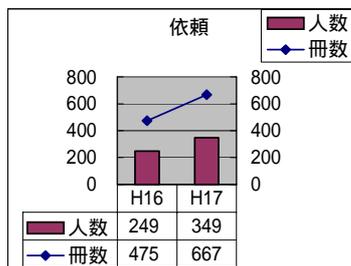
鳥取県立図書館・鳥取市立図書館・米子市立図書館利用状況

鳥取県立図書館

中央館

[依頼]

	H16	H17	H17-1ヶ月平均
人数	249	349	29.1
冊数	475	667	55.6
返却冊数	1961	3210	267.5
[受付]			
人数	3	5	0.4
冊数	3	6	0.5

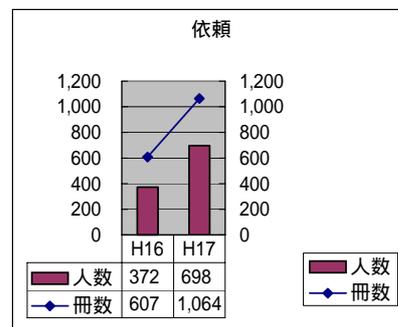


医学部分館

[依頼]

		H16	H17	H17-1ヶ月平均
人数	協力用図書	340	612	51.0
	リクエスト	32	86	7.2
	合計	372	698	58.2
冊数	協力用図書	550	928	77.3
	リクエスト	57	136	11.3
	合計	607	1,064	88.7
[受付]				
人数		0	0	
冊数		0	0	

H16年は8月より実施



鳥取市立中央図書館

中央館

[依頼]

	H17	1ヶ月平均
人数	98	16.3
冊数	248	41.3
返却冊数	590	98.3
[受付]		
人数	0	0
冊数	0	0

米子市立図書館

医学部分館

[依頼]

	10月-3月合計	1ヶ月平均
人数	155	25.8
冊数	208	34.7

* 受付は距離が近いので直接貸出。

////////////////////////////////////ミニ・トピックス////////////////////////////////////

中学生が職場体験学習

中央図書館では平成18年6月27日から30日の4日間を同大附属中学校、7月3日から7日の5日間を鳥取市立湖東中学校と、2つの中学校(いずれも2年生3名ずつ)の職場体験学習を2週間にわたり連続して受け入れました。

これは、仕事や社会へ積極的に関わる体験を通して人間関係づくりを学び、共に生きる心や感謝の心を育むことを目的として両校が毎年実施しているもので、今年度で7年目となりました。生徒たちは、慣れない作業に戸惑いながらも、カウンターでの図書の貸出・返却処理をはじめ、雑誌の受付やNACSIS-CATから書誌データをダウンロードするなどの業務を体験したほか、簡単なホームページの作り方や電子ジャーナルについて熱心に学びました。終了後の反省会では、「緊

張したが、利用者との対応が楽しかった」「カウンターの外からは見えない部分で、様々な人が役割を持って働いているのを知って驚いた」と感想を話していました。



カウンターで貸出業務を行う中学生

医学部分館、境港市民図書館と相互協力協定を締結

医学部分館は、平成18年4月27日に境港市民図書館と相互協力に関する協定を締結しました。境港市市長室で行われた協定の調印式には、境港市から中村市長、根平教育長、甲斐市民図書館長等が、また、鳥取大学からは和泉附属図書館長、岸本医学部分館長、松本図書館情報課長等が出席し、5月1日から鳥取県内の図書館との連携の強化と相互協力の輪がよりいっそう広がることとなりました。

この協定によって、米子地区(医学部・附属病院)の教職員・学生は、キャンパスから約20km離れた境港市民図書館にわざわざ出向くことなく、分館のカウンターで市民図書館資料の貸出・返却ができるようになりました。また、この貸出とは別に、分館の蔵書が少ないジャンルといえる一

般教養書や小説類を、市民図書館から50冊3ヶ月間の貸出を受けて分館内に配架して利用できるようにもなり、館種を越えた地域の図書館との連携サービスがより充実することが期待されています。



協定書に調印する岸本医学部分館長(左)と中村境港市市長

なお、この協定の締結記念として、5月13日(土)午後3時から境港市民会館で同大学医学

部の井上貴央教授を講師に「骨の今昔物語 ～ 遺跡の骨・現代の骨から分かること～」と題する記念講演会を開催しました。井上教授は、県内遺跡出土の折に弥生人の脳の鑑定を行い、地元新聞で「青谷の弥生の物語」を連載していることもあって、会場は定員をはるかに超す170名の参加者で溢れました。

講演では、「竹取物語」風に、古代の話から最近食された鯛の話まで、骨にまつわるエピソードが次から次へとテンポ良く紙芝居的に飛び出し、専門的な話にもかかわらず、軽妙な語り口と親しみのある写真や画像で、多くの市民から大変わかりやすく興味深い内容で勉強になったと、アンケートへ声がよせられました。

映画『こほろぎ嬢』の撮影ロケ

平成18年5月27日(土)、映画『こほろぎ嬢』(浜野佐知監督)の撮影ロケが中央図書館1階の開架書庫でおこなわれました。この映画は、鳥取県岩美町出身の作家、尾崎翠(1896 - 1971年)原作の短編「こほろぎ嬢」「歩行」「地下室アントンの一夜」を1本にまとめた恋愛映画で、暗い家の片隅にひっそりと息づいているコオロギに自らをなぞらえた女性を主人公に、絶対に実らない「片恋」と「人間心理の分裂」という独自の世界を描いたものです。

鳥取県支援事業でもあるこの映画は、鳥取砂丘など県内各地で撮影が行われましたが、当館でのシーンは主人公の貧乏詩人・小野町子が本の堆く積まれた書庫を大好きな本に囲まれて幸せそうに歩き、書架から文学書を取り出して閲覧室の片隅で読書にいそしむ姿を、女優の鳥居しのぶさんが演じました。夕方まで続いた撮影には、浜野監督のメガホンが鳴り響く中、カメラマンや

アシスタント等スタッフ約20人が撮影機材を調整しながら忙しく動き回る姿が見られました。この日は、開架書庫の一隅を立ち入り禁止としましたが、土曜開館をしていた館内には、通常の来館者とともに熱心な映画ファンが学内外から見学に訪れていました。

附属図書館では、今秋公開されるこの映画をとおして、郷土の女流作家・尾崎翠の偉業に新たな光が当たるとともに、鳥取県、鳥取大学の更なるPRにつながればと期待しています。



主演の鳥居しのぶさんに演技指導する浜野監督

鳥取県立図書館との相互職員派遣研修を実施

中央図書館では、このたび鳥取県立図書館との相互職員派遣研修を初めて実施しました。

この研修は、平成14年に締結した「鳥取大学附属図書館及び鳥取県立図書館の図書館利用

の相互協力に関する協定書」に基づいたもので、各々の所属の職員をその身分を有したままで相互に1名ずつ派遣することによって、両館の職員が互いの職場の業務を実際に体験して理解する

とともに、相互協力協定に沿った図書館サービスの更なる向上を図ることを目的としています。

両館では、毎年これを実施することとして、研修職員を受け入れる図書館が研修職員の所属する図書館と協議して研修実施計画書を作成すること、研修職員は研修終了後1か月以内に研修実施報告書を提出することなどを盛り込んだ要項を定めました。

今回は、先ず7月10日～14日の5日間に亘って県立図書館職員1名を受け入れ、大学図書館ならではの学術文献データベース・電子ジャーナルの演習などを行い、続いて9月4日から8日まで県立図書館へ当館職員1名を派遣し、郷

土資料・環日本海資料・児童サービスなどの各種業務の実習を行いました。それぞれの館員が、館種の違った図書館業務を体験してスキルアップするとともに、両館が新しい風を受け入れて活性化していくことが期待されています。



受入式で挨拶する県立図書館職員

倉吉市立図書館と相互協力協定を締結

附属図書館は、平成18年7月26日、倉吉交流プラザに於いて倉吉市立図書館と相互協力に関する協定を締結しました。当館は、平成14年度の鳥取県立図書館を始めとして、17年度には鳥取市立中央図書館と米子市立図書館、更に18年5月には境港市民図書館とも相互協力協定を結び、今回で県内全市の図書館と協定を結んだこととなります。

協定の調印式には、同館から和泉附属図書館長等が、また、倉吉市立図書館からは田熊図書館長等が出席して協定書に調印し、8月1日から鳥取県内の図書館との連携の強化と相互協力の輪がいつそう広がることとなりました。この協定によって、鳥取キャンパスの教職員・学生は、同館に少ない小説などの一般図書を倉吉市立図書館から100冊3ヶ月間の貸出を受けて中央図書館内に配架して利用できるようになり、一方、倉吉市立図書館へ専門図書の貸出や文献提供を行うことによって、館種を越えた地域の図書館

連携サービスがより充実して行くことと期待されています。



協定書に調印する和泉鳥取大学附属図書館長(左)と田熊倉吉市立図書館長

なお、この協定締結を記念して、9月18日(月)、同大学医学部尾崎米厚助教授を講師に、敬老の日に因んだテーマの講演会「鳥取県での調査からわかった介護予防、脳卒中予防の方法～人生を楽しく過ごすために～」を開催しました。尾崎助教授は予防医学専門家の立場から、寝たきり予防・介護予防・認知予防のためには脳卒中を予防することが重要であり、県内各地での調

